

モニタリング結果報告書

施設名 : あいかわ公園

指定管理者 : 財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月29日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
11月	12月10日	12月27日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
12月	1月10日	1月21日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
1月	2月10日	2月28日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
2月	3月10日	3月28日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
3月	4月10日	4月28日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

※サービスの向上や利用促進方策

- ①宮ヶ瀬湖周辺3拠点を含めた公園のPR及び公園情報の効果的な提供
- ②利用者の満足度を向上させる仕組みづくり
- ③利用者の再訪(リピーター)を促す魅力づくり

< 実施状況 >

- ①公園をはじめ工芸工房村の様々なイベントを通して、公園の情報をPRすると共に、ホームページには随時イベント情報を更新し、最新の情報を提供できるよう心掛けました。
 - ②新たにエントランスホールやパークセンター入口にイベント情報掲示コーナーを設置し、来園者が見やすいイベント情報の発信に努めました。また、繁忙期には「駐車場料金の前取り制度」を実施し、計画的な駐車場管理を実施しました。
 - ③イベントとしては花の日、ちぎり絵体験、竹細工教室(月1回)はもとより革工芸教室、手作りガーデニング教室などを開催。クリスマス時期には季節にちなんだイベントを開催しました。他に公園の自然を題材とした自然体験並びに環境学習としてのイベントを愛川町教育委員会と共同で開催し、自然多き公園としての魅力を発信することで、来園者の利用促進に努めました。
- 園地内で関係車両と来園者が交錯しないよう、各所に誘導看板等を設置するなど、安全性の向上を図りました。
- 現在もアンケート調査などにより、来園者のニーズを的確に把握し、より良い公園運営に努めるよう鋭意努力しています。

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	141,458	114,598	0	141,458	0
上半期計 (a)	70,916	53,651	0	61,335	9,581
下半期計 (b)	72,877	60,947	0 (0)	82,064 (4,807)	-9,187
10月	12,120	8,937	0 (0)	9,137 (2,890)	2,983
11月	12,110	9,201	0 (0)	10,631 (3,812)	1,479
12月	11,436	11,160	0 (0)	11,078 (385)	358
1月	11,027	10,728	0 (0)	15,628 (515)	-4,601
2月	10,954	10,723	0 (0)	12,818 (468)	-1,864
3月	15,227	10,198	0 (0)	22,767 (924)	-7,540
合計 (a+b)	143,793	114,598	0 (0)	143,399 (31,455)	394

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

年間を通じた設備保守点検や遊具の保守点検の支出が年度末に集中してしまったため、下半期の収支差額の減額が発生した。今後は年間を通じたバランス良い予算執行に努める。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	「特になし」	
支出の状況	「特になし」	
積立等の状況	「特になし」	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	260,375人	289,687人	△10.1%
下半期計 (b)	169,607人	155,512人	9.1%
10月	32,947人	34,629人	△4.9%
11月	43,272人	36,319人	19.1%
12月	24,714人	15,389人	60.6%
1月	29,859人	26,311人	13.5%
2月	19,977人	14,160人	41.1%
3月	18,838人	28,704人	△34.4%
合計 (a+b)	429,982人	445,199人	△3.4%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

3月の利用者数の減少は東日本大震災の影響によるものと思われま

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						
11月					1	1
12月				1		1
1月						
2月						
3月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容	・年末年始の遊具利用 (ホームページ) 内容について	今後はホームページにて対応します。
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	「特になし」
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	下半期は3月に発生した東日本大震災の影響で来園者が減少をしましたが、パークセンター及び工芸工房村では定期的なイベントを開催し、新たな来園者の獲得に努めました。また愛川町で共同開催した各種自然体験イベントを開催しました。 また、職員においては接遇研修を実施し、公園運営のソフト面を向上を図りました。今後も利用者の要望や意見を踏まえた安心安全な公園運営に努めていきたいと考えています。
施設所管課	3月に発生した東日本大震災の影響で来園者が減少したが、日常の安全管理及び巡視が行き届いており、来園者にも好印象を与えているので、今後ともより一層、来園者の増加を図るべくソフト面での努力をしてほしい。